

ファーストレベル募集要項

1 目的

- (1) 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する
- (2) 看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を習得する
- (3) 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力を高める

2 研修期間

9月19日(火)～11月2日(木) (26日間)

3 定員/会場

- (1) 定員 70名
- (2) 会場 岩手県看護協会 看護研修センター (原則として)

4 被災者への支援

岩手県看護協会会員で、東日本大震災で被災された看護管理者 若干名を対象として受講経費(受講料・レポート審査料)を免除する

5 受講要件と提出書類

【受講要件】

- (1) 日本国の看護師免許を有する者
- (2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算して5年以上ある者
- (3) 管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することを期待されている者

【提出書類】

- (1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講申込書

6 申込期間

6月1日(木)～6月9日(金) 必着

7 申込方法

「認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講申込書」(ホームページよりダウンロードできる)に必要な事項を漏れなく記入し、申込期間内に申し込む

8 受講者の選考方法

認定看護管理者教育運営委員会で受講者を決定する

<選考基準>

- (1) 受講要件を満たしている
- (2) 受講動機における自己の課題が明確であり、論点・論旨が明確である

9 決定通知

7月下旬、受講の可否を文書にて通知する

10 受講経費

会員 受講料：130,000円 (科目レポート審査料含む)

非会員 受講料：240,000円 (科目レポート審査料含む)

※他にテキスト代：実費徴収

11 修了要件

- (1) 各教科目の所定の時間の4/5以上の出席がある
- (2) 各科目レポートの評価がC以上である
(A：80点以上、 B：79～70点、 C：69～60点、 D：59点以下)
- (3) 認定看護管理者教育運営委員会において(1)(2)に基づき修了審査する
- (4) 修了者には、修了証書を岩手県看護協会会長名で交付する

12 教育課程(カリキュラム)と講師

教科目	時間	ねらい	単元	単元の内容	時間数	講師
看護管理概論	15	1. 看護管理に必要な知識体系を学び、看護管理への活用を理解する。 2. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察する。	1)看護管理の概要	・看護管理の歴史 ・看護管理の定義 ・看護管理過程、機能・PDCAサイクル	6	岩手看護短期大学 教授 相馬 一二三 ※公開講座(9/20のみ)
			2)看護管理に必要な基礎知識	・組織の成り立ちと構造 ・システム論	3	ニプロ株式会社 外部取締役 大 水 美名子
			3)看護管理者の役割と活動	・看護管理者の活動の動向 ・看護管理者の役割		
			4)労働者として学ぶ労務管理の基礎知識	・雇用契約 ・雇用形態・勤務時間 ・勤務体制 ・労働時間管理 ・健康管理(メンタルヘルス含む) ・賃金体系 ・ワークライフバランス等	6	社労士事務所 マンパワーマネジメント 代表 佐藤 福洋
看護専門職論	30	1. 拡大・変化する看護専門職の機能と活動範囲を予測し、看護実践の改善に向け考察する。 2. 看護職の自律性と責務を理解する。 3. 看護に関連する法律や制度の変化を捉え、看護管理の視点で変化の意義や適応を理解する。	1)看護専門職の役割と機能	・看護専門職の自律性と責務 ・看護業務の行動指針(看護業務基準、業務遂行基準・職務規程) ・看護専門職の動向	6	岩手県立山田病院 認定看護管理者 総看護師長 箱石 恵子
				・看護専門職としてのキャリア開発 ・看護基礎教育制度と継続教育	6	岩手県立大学看護学部 准教授 工藤 真由美
				・演習 看護専門職者として、看護管理者の役割を考える	6	助言講師 平澤智子(岩手県立遠野病院 総看護師長・認定看護管理者) 多田育美(岩手医科大学附属病院 副看護部長・認定看護管理者) 菊池共子(岩手県立宮古病院 総看護師長・認定看護管理者)
			2)看護実践における倫理	・看護者の倫理綱領 ・対象の権利と人権擁護 ・看護実践における倫理的問題の把握と意思決定	6	東京大学大学院 人文社会系研究科 特任准教授 会田 薫子
			3)看護の社会的責務と法的根拠	看護関連法規 ・保健師助産師看護師法 ・看護師等の人材確保に関する法律 ・医療法をはじめ、保健医療福祉に関する法律 ・医療保健福祉関連職種に関する法律	6	青森県立保健大学健康科学部 看護学科 准教授 鄭 佳紅

ヘルスケアシステム論	15	1. ヘルスケアシステムの構造と現状、保健医療福祉制度を理解する。 2. 保健医療福祉制度の変化が看護管理に与える影響を理解する。	1)我が国におけるヘルスケアシステムの構造	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険制度 社会保障制度 国民医療費と医業に関する費用 診療報酬・介護報酬 看護活動の診療報酬上の評価 	3	岩手県立中央病院地域医療連携室 主査医療社会事業士 渡邊 純子
			2)保健医療福祉の動向	<ul style="list-style-type: none"> 保健医療福祉の動向 保健医療福祉のニーズと政策 保健医療福祉関連職種の理解と活動の場 	12	慶応義塾大学看護医療学部 大学院健康マネジメント研究科 准教授 小池 智子
看護サービス提供論	30	1. 看護サービスの基本的概念を理解する。 2. 看護サービスの対象となる人々の権利を尊重した、看護サービスの提供過程を理解する。 3. 安全を保障しながらより良い質の高い看護サービスを提供する方法を理解する。 4. 看護サービス提供上の問題を論理的に解決する思考を学ぶ。	1)看護サービスの概要	サービスとは <ul style="list-style-type: none"> 看護サービスの概念 看護ケア提供方式 	6	盛岡つなぎ温泉病院 看護部長 菅原 秀子
			2)問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 論理的思考 問題解決思考 問題解決過程 分析方法(特定要因図・SWOT) 看護実践計画書の作成 	9	ヘルメス株式会社 代表取締役 クロイワ 正一
			3)看護サービスの質管理	<ul style="list-style-type: none"> 看護サービスの質評価と改善 看護サービスと記録 	9	東京医療保健大学 東が丘・立川 看護学部看護学科 大学院看護学研究科 教授 中島 美津子
				<ul style="list-style-type: none"> 看護サービスの安全管理 	6	福島県立医科大学看護学部 認定看護管理者 准教授 木下 美佐子 ※公開講座
グループマネジメント	30	1. 組織集団の基本概念、集団の力動的諸機能を理解する。 2. 看護チームにおけるリーダーの役割、医療チームにおける看護の役割を理解し、連携・協働の在り方を学ぶ。 3. 組織目的の達成に向けて、メンバーが行動をとれるように諸理論の活用を考察する。	1)グループマネジメントの基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> 組織とは 組織力・組織風土 カンファレンスの運営 ファシリテーション 	6	順天堂大学医療看護学部 准教授 大西 麻未
			<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップとメンバーシップ 集団の基本概念 集団力学(グループダイナミクス) コミュニケーション アサーティブネス 	9	青森県立保健大学健康科学部 看護学科 講師 村上 眞須美	
			<ul style="list-style-type: none"> 人間関係論 	6	岩手県立大学看護学部 教授 伊藤 収	
			<ul style="list-style-type: none"> 演習 「私になりたい看護管理者像」 	3	助言講師 平澤智子(岩手県立遠野病院 総看護師長・認定看護管理者) 多田育美(岩手医科大学附属病院 副看護部長・認定看護管理者) 菊池共子(岩手県立宮古病院 総看護師長・認定看護管理者)	

		2)看護チームのマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 看護業務の割り当て 権限委譲 看護チームのマネジメントの実際 	3	盛岡赤十字病院 認定看護管理者 看護副部長 目 時 の り	
		3)チーム医療と連携	<ul style="list-style-type: none"> チーム医療と看護の専門性 チーム医療における看護の役割 	3	盛岡市立病院地域連携室 看護師長 高 橋 智 子	
人材育成論	15	1. 人材育成のための基本的な概念を理解する。	1)人材育成の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> 成人学習の考え方 新人教育と社会化 役割理論 動機づけ理論 	12	東京女子医科大学病院 統括看護部長 看護職キャリア開発支援センター センター長 川 野 良 子
		2. 現場(看護単位)における後輩育成や指導方法を理解する。	2)人材育成の方法	<ul style="list-style-type: none"> OJT コーチング、ティーチング メンタルサポート 看護単位における研修プログラムの企画と運営 実習支援 		
				<ul style="list-style-type: none"> 人材育成におけるシステム作りと実際 		
看護情報論	15	1. 情報の概念と特徴を理解し、倫理的な取り扱いを学ぶ。 2. 患者ケアに役立ち、看護の質改善に資する情報管理の在り方を学ぶ。	1)医療・看護情報の概要	<ul style="list-style-type: none"> 医療情報とは 医療情報の活用 看護における情報の種類と特徴 看護用語の標準化 	9	岩手県立大学看護学部 名誉教授 山 内 一 史 ※公開講座
			2)看護情報の倫理的側面と対応	<ul style="list-style-type: none"> 患者権利と情報開示 情報セキュリティ 看護者の守秘義務対策と実際 個人情報保護への対策と実際 		
			3)看護実践に活かす情報管理	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果の活用 情報検索・収集 		
			<ul style="list-style-type: none"> 看護情報の記録 看護の評価・改善のための情報活用 根拠に基づく看護実践のための情報管理 看護必要度と看護記録 看護管理への活用 電子情報システムの活用 	6	日本赤十字秋田看護大学 認定看護管理者 准教授 菖蒲澤 幸 子	
その他	6	研修の目的を理解できる	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> 認定看護管理者制度 岩手県看護協会ファーストレベルについて 	3	専任教員 池 田 まり子
		論文の書き方の基本を身につける	論文の書き方	<ul style="list-style-type: none"> 論文の書き方の基本 	3	岩手大学教育学部 教授 藤 井 知 弘

156時間(26日間)